



『大植物図鑑』高山植物図



『大植物図鑑』薬用植物図

牧野富太郎を継ぐ時代

大植物図鑑

DAI-SHOKUBUTSU-ZUKAN

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人

NPO法人うちのの館(やかた)

637-0016 奈良県五條市近内町526

電話とFAX 0747(22)4013

高校生以上300円・小中学生200円 20名以上2割引

月曜休館・月曜祝日のときは開館して翌日休館。9寺〜16寺

info@uchinono-yakata.com

<http://www.uchinono-yakata.com>

登録有形文化財
藤岡家住宅
夏の展示
令和5年7月1日(土)
〜9月22日(金)

- 昭和天皇・生物学御研究所 『那須の植物』(昭和37年)
- 村越三千男 『大植物図鑑』(大正14年)
- 三宅驥一 『女子理科植物学教科書』(大正14年)
- 水野正春 『女子園芸新教科書』(昭和3年) など



『那須の植物』より昭和天皇
香淳皇后筆日本画「サワギキョウ」



『大植物図鑑』より左から 熱帯植物図・セイヨウニハトコ・薬用植物図・オホムギ・海藻



タイリンバシラ
Cereus Grand florus, Mill
『女子園芸新教科書』

牧野富太郎を継ぐ時代・昭和天皇・村越三千男・三宅驥一・水野正治など

『大植物図鑑』

令和5年7月1日(土)～9月22日(金)

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人・NPO 法人うちの館

郵便番号 637-0016 奈良県五條市近内町526番地

電話とファックス 0747(22)4013

高校生以上 300 円・小中学生 200 円・20 名以上2割引

月曜休館・月曜祝日のときは開館して翌日休館 9時～16時



スズラン
Lily-of-The-Valley(Convollharia majoris Linn)『女子園芸新教科書』

『大植物図鑑』は、博物学者 **村越三千男** (明治5年・1872年～昭和23年・1948年) が大正14年(1925年)に発行した植物図鑑。**村越**は、明治39年(1906年)から**牧野富太郎**の協力を得て『普通植物図鑑』(村越三千男画、高橋悦郎編、**牧野富太郎**校訂)を月1回のペースで(全5巻・60集)発行。その後も**牧野**の校訂を受けて研究書を発行していました。『大植物図鑑』は、その後、**村越**が**牧野**から離れ、独自で発行した図鑑です。同著のほか、写真を用いず、精巧な描写で標本を描写した大正時代の動物学・植物学の教科書資料を展示します。**昭和天皇**の御研究『那須の植物』(生物学御研究所編集)(昭和37年)は、**牧野富太郎**より御進講を受けられた**昭和天皇**が**牧野**の意見を聞きながらまとめた研究書です。

文久2年土佐国佐川村(現高知県高岡郡佐川町)で生まれた**牧野富太郎**は、江戸時代の本草学に大きな影響を受けました。江戸時代の植物図を取めた『古今書譜』(寛文12年・1672年)、本草学の書『廣益薬性合類霊実能毒大成』(正徳5年・1715年)、『諸用咒秘事文庫』(安永2年・1773年)、『昼夜重宝記』(安永7年・1778年)、『博物新編』(明治5年・1872年)他も併せて展示します。

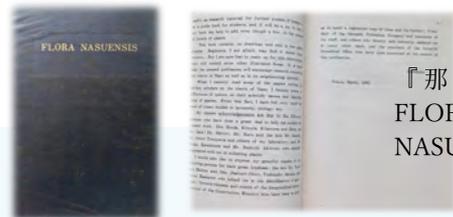


『女子用植物学教科書』理学博士 **三宅驥一**著
明治書院 大正14年。

三宅驥一は植物学者。明治9年～昭和39年。兵庫県生まれ。東京帝国大学、コーネル大学、ボン大学卒業。東京帝国大学教授。



『女子園芸新教科書』農学士 **水野正治**著
合資会社西ヶ原刊行会社。昭和3年。



『那須の植物
FLORA
NASUENSIS』

昭和天皇の御研究書『那須の植物』

生物学御研究所編 三省堂 昭和37年

「序文」(一部) FORREWORD

In August, 1926, under the guidance of Dr. Hirotarō Hattori, I first started a work of making specimens of the plants which were collected in Nasu by Mr. Shiro Kato and the late Mt. Hiroo Sanda of my biological laboratory. The scale of my works, however, was quite limited, the number of specimens being was not too large, although the late **Dr. Tomitaro Makino**, too, was good enough to take the trouble of assisting me in identifying some of them. I have continued this research work more in earnest since around 1948 or 1949, and have gathered an increasing number of material, which Drs. Masaji Honda, Arika Kimura, Siro Kitamura, and Hiroshi Hara, and Mr. Tatsuo Sato have been asked to help identify. I also have from time to time had opportunities of examining plants in the field in economy with them. The plants taken up in the present book cover those of the Nasu area, except Nishi-Nasu. (The rest is omitted.)
Hirohito Tokyo, March, 1962

大正15年8月から、服部広太郎博士の指導のもとに、生物学研究所の加藤四郎・故真田裕男の両名の採集した那須の植物を、標本にすることを始めた。それらは、**故牧野富太郎**博士に見てもらったりしたが、数も少なく、規模も小さかった。昭和25、24年ごろから、だんだん力を入れて調査するようになり、採集したものを、本田正次・木村有香・佐藤達夫・北村四郎・原寛の諸君に同定してもらったり、また諸君といっしょに野外で観察する機会にもめぐまれるようになった。この本に扱ったのは、那須のうち西那須地方を含まない地域である。(紙面の都合により以下を略させていただきます)

昭和37年3月 裕 仁